

c-cat-findings_20240306_5123456789



本調査結果は、専門家による会議（エキスパートパネル）の参考資料として用いられるものとして作成されており、「患者さんが原本又は複写物を受け取ることを想定して作成されたものではない」旨、注意喚起をさせていただいています。

患者さんからの情報公開請求等に応じて交付する場合にあっては、この趣旨（以下2点）をご理解いただき、患者さんに丁寧に説明した上で、交付いただきますよう改めてお願い致します。

- ① 記載されている情報が個々の患者さんに当てはまるかどうかは、その患者さんの主治医等を含めた専門家による解釈を必要とします。これに当たり、患者さんが参加可能か否かを検討していただく候補臨床試験を幅広く掲載しており、掲載された臨床試験が患者さんに適していることや当該試験に患者さんが参加できることを保証するものではありません。

※C-CAT調査結果のみを見ると、患者さんが参加できる臨床試験が多数あるかのように誤解される可能性があります。臨床試験の適格条件や実施状況等による登録の可否については、エキスパートパネルあるいは主治医から、臨床試験の連絡先等に確認いただいた上で、患者さんにご説明ください。

- ② 各臨床試験の連絡先は、①に記載の通り、医療関係者が必要に応じて問合せできるように記載しているもので、患者さんからの問合せ先ではないことにご留意ください。

お知らせ（2024年03月29日更新）

① CKDBポータル利用のご案内

がんゲノム医療病院の方々は、診療支援を目的として設けられた「CKDBポータル」をご利用いただけます。CKDBポータルでは、C-CAT調査結果に利用されている知識データベース（Cancer Knowledge DataBase：CKDB）の「エビデンス」、「薬剤」、「臨床試験」が閲覧できます。また、「CKDBポータル」は「C-CATポータル」を経由せずに、インターネット経由でのログインが可能という特徴があります。インターネット経由で接続可能ですので、是非その利便性を実感いただければと思います。URL: <https://ckdbportal.c-cat.ncc.go.jp/> ログインIDとパスワードの新規発行につきましては、C-CATヘルプデスクにお問い合わせください。

② 検査会社レポートとC-CAT調査結果の差異発生時の運用改訂

一部の検査会社レポートについてはC-CATへの情報共有データの問題から、遺伝子名などの表記において検査会社レポートとC-CAT調査結果で差異が生じることがあります。単純な表記方法に関する差異ですが、C-CATでは可能な限り検査レポートに表記を合わせる修正を行ってまいりました。しかし、昨今の検査数増などに鑑み、4月1日(月)をもってこの対応を終了させていただくことといたします。

1 基本項目

1-1 患者

登録ID	5123456789	患者識別ID	00NOA18073105	検体識別番号	1616006918073100
年齢	64歳	性別	女		
がん種	Breast, Invasive Breast Carcinoma				

1-2 医療機関

中核拠点病院	大学病院E
連携病院	テスト病院E1

1-3 検査

検体採取日	2020/05/11	パネル名	FoundationOne CDx DX2
検査検体	tumor-only		

1-4 次世代シーケンサーによるシーケンシングサンプル情報

No.	検体種別	DNA-seq/ RNA-seq	重複率	マッピング率	平均読取深度	読取深度の 中央値	サンプルの状態
1	tumor	DNA-seq					

SAMPLE F1CDx

2 調査結果

DNAマーカー検出数

塩基置換、挿入、欠失	コピー数変化	遺伝子再構成、構造異型	塩基置換、挿入、欠失 (生殖細胞系列変異)
4	2	4	-

RNAマーカー検出数

融合遺伝子	その他の異常転写産物	遺伝子発現	その他のバイオマーカー検出数
-	-	-	2

承認薬・臨床試験

⚠ 薬剤への到達性の指標をご参照ください。

国内承認薬	国内臨床試験中	国内適応外薬	FDA承認薬	FDA適応外薬
3	10	2	4	5

遺伝子変異以外のバイオマーカー

「■番号」は参考文献へのリンク、「●番号」は国内臨床試験へのリンクです。

No.	マーカー	枝番	エビデンスタイプ	臨床的意義	エビデンスレベル	薬剤	薬剤への到達性
1	MSI stable						
2	TMB 3 Muts/Mb						

塩基置換、挿入、欠失 (DNA)

「■番号」は参考文献へのリンク、「●番号」は国内臨床試験へのリンクです。

No.	マーカー	枝番	エビデンスタイプ	臨床的意義	エビデンスレベル	薬剤	薬剤への到達性	
3	TP53 A268V 80.0% 全がん種バリエーション頻度: 0.00% (0/56,682) がん種別バリエーション頻度: 0.00% (0/2,676) がん種別遺伝子変異頻度: 65.3% (1,747/2,676)	1	Predictive	Sensitivity/Response	C	bevacizumab ■ 3	国内適応外薬 FDA適応外薬	
		2	Predictive	Sensitivity/Response	C	pazopanib hydrochloride ■ 4	国内適応外薬 FDA適応外薬 国内臨床試験中 (1件) ● 1	
		3	Predictive	Sensitivity/Response	C	pazopanib hydrochloride + vorinostat ■ 5		
		4	Oncogenic	Likely Pathogenic	F	■ 6		
		5	Predictive	Resistance	R3	abemaciclib ■ 7	国内承認薬 FDA承認薬	
4	ABL1 F317L 26.0% 全がん種バリエーション頻度: 0.00% (1/56,682) がん種別バリエーション頻度: 0.00% (0/2,676) がん種別遺伝子変異頻度: 0.04% (1/2,676)	1	Oncogenic	Likely Oncogenic	F	■ 8		
		2				nilotinib(Drug Target Match) ■ 22	国内臨床試験中 (1件) ● 1	
		3				ponatinib hydrochloride(Drug Target Match) ■ 22	国内臨床試験中 (1件) ● 1	
5	ATM E2444K 39.0% 全がん種バリエーション頻度: 0.01% (4/56,682) がん種別バリエーション頻度: 0.00% (0/2,676) がん種別遺伝子変異頻度: 1.98% (53/2,676)							
6	BRCA2 V2109I 51.0%							

SAMPLE F1CDx

No.	マーカー	枝番	エビデンスタイプ	臨床的意義	エビデンスレベル	薬剤	薬剤への到達性
	※ToMMo = 0.68% ※ExAC = 0.38% ※1000G = 0.20% 全がん種バリエーション頻度: 1.27% (718/56,682) がん種別バリエーション頻度: 1.16% (31/2,676) がん種別遺伝子変異頻度: 8.63% (231/2,676)						

遺伝子再構成(DNA)、構造異型(DNA)

「■番号」は参考文献へのリンク、「●番号」は国内臨床試験へのリンクです。

No.	マーカー	枝番	エビデンスタイプ	臨床的意義	エビデンスレベル	薬剤	薬剤への到達性
7	GBA-NTRK1 gene fusion q22-q23.1 全がん種バリエーション頻度: 0.00% (0/56,682) がん種別バリエーション頻度: 0.00% (0/2,676) がん種別遺伝子1変異頻度: 0.00% (0/2,676) がん種別遺伝子2変異頻度: 2.62% (70/2,676)	1	Predictive	Sensitivity/Response	A	entrectinib ■ 1	国内承認薬 FDA承認薬 国内臨床試験中 (1件) ● 1
		2	Predictive	Sensitivity/Response	A	larotrectinib ■ 1	国内承認薬 FDA承認薬
		3	Oncogenic	Likely Oncogenic	F ■ 9		
		4				repotrectinib(Trial Condition Match) ■ 21	国内臨床試験中 (2件) ● 2, 3
8	NTRK1-GBA gene fusion q23.1-q22 全がん種バリエーション頻度: 0.00% (0/56,682) がん種別バリエーション頻度: 0.00% (0/2,676) がん種別遺伝子1変異頻度: 2.62% (70/2,676) がん種別遺伝子2変異頻度: 0.00% (0/2,676)	1	Predictive	Sensitivity/Response	A	entrectinib ■ 1	国内承認薬 FDA承認薬 国内臨床試験中 (1件) ● 1
		2	Predictive	Sensitivity/Response	A	larotrectinib ■ 1	国内承認薬 FDA承認薬
		3	Oncogenic	Likely Oncogenic	F ■ 9		
		4				repotrectinib(Trial Condition Match) ■ 21	国内臨床試験中 (2件) ● 2, 3
9	ABL1-BCR gene fusion q34.12-q11.23 全がん種バリエーション頻度: 0.00% (1/56,682) がん種別バリエーション頻度: 0.00% (0/2,676) がん種別遺伝子1変異頻度: 0.04% (1/2,676) がん種別遺伝子2変異頻度: 0.04% (1/2,676)	1	Oncogenic	Likely Oncogenic	F ■ 10		
		2				nilotinib(Drug Target Match) ■ 22	国内臨床試験中 (1件) ● 1
		3				ponatinib hydrochloride(Drug Target Match) ■ 22	国内臨床試験中 (1件) ● 1
10	BCR-ABL1 gene fusion q11.23-q34.12 全がん種バリエーション頻度: 0.01% (4/56,682) がん種別バリエーション頻度: 0.04% (1/2,676) がん種別遺伝子1変異頻度: 0.04% (1/2,676) がん種別遺伝子2変異頻度: 0.04% (1/2,676)	1	Oncogenic	Oncogenic	F ■ 11, 12		
		2				imatinib mesylate(Drug Target Match) ■ 23	FDA適応外薬 国内臨床試験中 (1件) ● 1
		3				nilotinib(Drug Target Match) ■ 22	国内臨床試験中 (1件) ● 1
		4				ponatinib hydrochloride(Drug Target Match) ■ 24	国内臨床試験中 (1件) ● 1

SAMPLE F1CDx

コピー数変化

「■番号」は参考文献へのリンク、「●番号」は国内臨床試験へのリンクです。

No.	マーカー	枝番	エビデンスタイプ	臨床的意義	エビデンスレベル	薬剤	薬剤への到達性	
11	CDK4 Amplification chr12: 58,141,510-58,146,093 全がん種バリエーション頻度: 2.20% (1,247/56,682) がん種別バリエーション頻度: 2.58% (69/2,676) がん種別遺伝子変異頻度: 2.58% (69/2,676)	1	Predictive	Sensitivity/Response	C	palbociclib ■ 13, 14	国内臨床試験中 (4件) ● 4~7	
		2	Oncogenic	Oncogenic	F ■ 15~17			
		3					abemaciclib(Drug Target Match) ■ 25	国内承認薬 FDA承認薬 国内臨床試験中 (5件) ● 1, 4, 8-10
		4					ribociclib(Drug Target Match) ■ 25	FDA承認薬 国内臨床試験中 (1件) ● 4
12	RAD51C Loss chr17: 56,769,963-56,812,972 全がん種バリエーション頻度: 0.07% (39/56,682) がん種別バリエーション頻度: 0.15% (4/2,676) がん種別遺伝子変異頻度: 0.97% (26/2,676)	1	Predictive	Sensitivity/Response	C	olaparib ■ 2	FDA適応外薬	
		2	Predictive	Sensitivity/Response	C	talazoparib + enzalutamide ■ 2	FDA適応外薬	
		3	Oncogenic	Likely Oncogenic	F ■ 18~20			

SAMPLE F1CDx

3 候補となる臨床試験一覧

※ 下記の治験・臨床試験については、詳細な適格基準・除外基準に合致しているか否か、患者登録受付中であるか否か、対象治療ラインが合致しているか否か、「実施機関（連絡先）」への確認が必要となります。

● 1

マーカー番号	3-2, 4-2, 4-3, 7-1, 8-1, 9-2, 9-3, 10-2, 10-3, 10-4, 11-3	試験名称[試験ID (データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ 2	【エキスパートパネルでエビデンスレベルD以上】 遺伝子プロファイリングに基づく推奨治療による患者申出療養 [JRCTs031190104 (2023/09/01), 2023/10/19]
薬剤名	イマチニブメシル酸塩, エベロリムス, ダブラフェニブメシル酸塩, トラメチニブ ジメチルスルホキシド付加物, パゾパニブ塩酸塩, ニロチニブ塩酸塩水和物, ルキシロチニブリン酸塩, セリチニブ, カプマチニブ, アレクチニブ, トラスツズマブ, アテゾリズマブ, ニボルマブ, エンコラフェニブ, ビニメチニブ, エヌトレクチニブ, ポナチニブ, クリソチニブ, アベマシクリブ, ニラパリブ, ペミガチニブ	
がん種	固形腫瘍	
実施機関	国立がん研究センター中央病院	
治療ラインの限定	整備中	
連絡先	ncch1901_consult@ml.res.ncc.go.jp	
関連試験ID	-	

● 2

マーカー番号	7-4, 8-4	試験名称[試験ID (データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ 1・2	A Study of Repotrectinib (TPX-0005) in Patients With Advanced Solid Tumors Harboring ALK, ROS1, or NTRK1-3 Rearrangements [NCT03093116 (2023/11/09), -]
薬剤名	Drug: Oral repotrectinib (TPX-0005)	
がん種	Locally Advanced Solid Tumors Metastatic Solid Tumors	
実施機関	Turning Point Therapeutics, Inc. Zai Lab (Shanghai) Co., Ltd.	
治療ラインの限定	整備中	
連絡先	855-907-3286, Clinical.Trials@bms.com,	
関連試験ID	-	

● 3

マーカー番号	7-4, 8-4	試験名称[試験ID (データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ 1・2	ALK、ROS1またはNTRK1-3の遺伝子再構成を有する進行固形癌患者におけるTPX-0005の安全性、忍容性、薬物動態および抗腫瘍活性を評価する第1/2相、非盲検、多施設共同、First-in-Human試験 (TRIDENT-1) [JRCT2011210009 (2023/09/07), 2021/07/20]
薬剤名	Repotrectinib	
がん種	ALK、ROS1またはNTRK1-3の遺伝子再構成を有する進行固形癌	
実施機関	ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社	
治療ラインの限定	整備中	
連絡先	MG-JP-RCO-JRCT@bms.com	
関連試験ID	-	

SAMPLE F1CDx

● 4

マーカー番号	11-1 , 11-3 , 11-4	試験名称[試験ID (データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ 3	局所進行 (切除不能) 又は転移性のホルモン受容体陽性/ヒト上皮細胞成長因子受容体2陰性乳癌を対象に、カピバセルチブとCDK4/6阻害薬及びフルベストラント投与をCDK4/6阻害薬及びフルベストラント投与と比較する第Ib/III相非盲検ランダム化試験 (CAPItello-292) [jRCT2031220034 (2023/10/07), -]
薬剤名	AZD5363	
がん種	局所進行 (切除不能) 又は転移性乳癌	
実施機関	アストラゼネカ株式会社	
治療ラインの限定	特定の薬物治療後	
連絡先	RD-clinical-information-japan@astrazeneca.com	
関連試験ID	NCT04862663	

● 5

マーカー番号	11-1	試験名称[試験ID (データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ 3	ER陽性/HER2陰性の進行乳癌患者を対象としてARV471 (PF07850327) +パルボシクリブとレトロゾール+パルボシクリブを比較する試験 [jRCT2031230255 (2023/07/25), 2023/10/17]
薬剤名	PF-07850327	
がん種	エストロゲン受容体陽性/ヒト上皮増殖因子受容体2陰性の進行乳癌	
実施機関	ファイザーR&D合同会社	
治療ラインの限定	初回治療	
連絡先	clinical-trials@pfizer.com	
関連試験ID	NCT05909397	

● 6

マーカー番号	11-1	試験名称[試験ID (データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ 1	進行または転移性固形癌患者を対象としたPF-07248144の臨床試験 [jRCT2031200246 (2023/04/29), -]
薬剤名	PF-07248144	
がん種	局所進行または転移性ER陽性HER2陰性乳癌, 局所進行または転移性去勢抵抗性前立腺癌, 局所進行または転移性非小細胞肺癌	
実施機関	ファイザーR&D合同会社	
治療ラインの限定	整備中	
連絡先	clinical-trials@pfizer.com	
関連試験ID	NCT04606446	

● 7

マーカー番号	11-1	試験名称[試験ID (データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ 3	進行癌に対する全身療法が未治療のER陽性HER2陰性乳癌患者の治療として、AZD9833+パルボシクリブをアナストロゾール+パルボシクリブと比較する第III相ランダム化二重盲検試験 [jRCT2031210041 (2022/02/05), -]
薬剤名	AZD9833	
がん種	ER陽性HER2陰性乳癌	
実施機関	アストラゼネカ株式会社	
治療ラインの限定	整備中	
連絡先	RD-clinical-information-japan@astrazeneca.com	

SAMPLE F1CDx

関連試験ID	NCT04711252	
● 8		
マーカー番号	11-3	試験名称[試験ID(データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ2	ホルモン受容体陽性HER2陰性進行転移乳癌に対し一次治療としてアベマシクリブ、アロマターゼ阻害薬併用療法施行症例を対象とした、ESR1変異に基づく治療戦略の有用性を検討する第2相研究 (JBCRG-M08 AMBER trial) [JRCTs051220133 (2023/09/28), 2023/02/08]
薬剤名	アベマシクリブ, アナストロゾール, フルベストラント, レトロゾール	
がん種	ホルモン受容体陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌	
実施機関	大阪大学医学部附属病院	
治療ラインの限定	整備中	
連絡先	yosinami-te@onsurg.med.osaka-u.ac.jp	
関連試験ID	-	

● 9		
マーカー番号	11-3	試験名称[試験ID(データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ2	AGAIN [JRCTs031210129 (2023/10/02), -]
薬剤名	アベマシクリブ, フルベストラント, アナストロゾール, レトロゾール, エキセメスタン	
がん種	HR陽性HER2陰性転移再発乳癌	
実施機関	公益財団法人がん研究会有明病院	
治療ラインの限定	特定の薬物治療後	
連絡先	takahiro.kogawa@jfcr.or.jp	
関連試験ID	-	

● 10		
マーカー番号	11-3	試験名称[試験ID(データ更新日)、製薬企業からの追加情報提供日]
フェーズ	フェーズ3	EMBER-3:ER+, HER2-の進行乳癌患者を対象とした imlunestrant、治験責任医師又は治験分担医師が選択した内分泌療法、imlunestrantとアベマシクリブの併用投与を比較する試験 [JRCT2051210102 (2022/11/17), -]
薬剤名	Imlunestrant	
がん種	乳がん/転移性がん	
実施機関	日本イーライリリー株式会社	
治療ラインの限定	整備中	
連絡先	LTG_CallCenter@lists.lilly.com	
関連試験ID	NCT04975308	

4 変異遺伝子の詳細

遺伝子	詳細情報
TP53	遺伝子の詳細情報が記載されます。

SAMPLE F1CDx

ABL1

ATM

BRCA2

GBA

NTRK1

BCR

CDK4

RAD51C

遺伝子の詳細情報が記載されます。

5 参考文献

文献番号	参考文献	マーカー番号
■ 1	PMDA	No. 7-1 , 7-2 , 8-1 , 8-2
■ 2	FDA	No. 12-1 , 12-2
■ 3	Rabin Said et al. "P53 mutations in advanced cancers: clinical characteristics, outcomes, and correlation between progression-free survival and bevacizumab-containing therapy." Oncotarget(2013) PMID:23670029	No. 3-1
■ 4	K Koehler et al. "TP53 mutational status is predictive of pazopanib response in advanced sarcomas." Ann Oncol(2016) PMID:26646755	No. 3-2
■ 5	S Fu et al. "Phase I study of pazopanib and vorinostat: a therapeutic approach for inhibiting mutant p53-mediated angiogenesis and facilitating mutant p53 degradation." Ann Oncol(2015) PMID:25669829	No. 3-3
■ 6	COSMIC登録数：6	No. 3-4

SAMPLE F1CDx

■ 7	Xueqian Gong et al. "Genomic Aberrations that Activate D-type Cyclins Are Associated with Enhanced Sensitivity to the CDK4 and CDK6 Inhibitor Abemaciclib." Cancer Cell(2017) PMID:29232554	No. 3-5
■ 8	Simona Soverini et al. "BCR-ABL kinase domain mutation analysis in chronic myeloid leukemia patients treated with tyrosine kinase inhibitors: recommendations from an expert panel on behalf of European LeukemiaNet." Blood(2011) PMID:21562040	No. 4-1
■ 9	A Vaishnavi et al. "Oncogenic and drug-sensitive NTRK1 rearrangements in lung cancer." Nat Med(2013) PMID:24162815	No. 7-3 , 8-3
■ 10	Etienne De Braekeleer et al. "ABL1 fusion genes in hematological malignancies: a review." Eur J Haematol(2011) PMID:21435002	No. 9-1
■ 11	Audrey Sirvent et al. "Cytoplasmic signalling by the c-Abl tyrosine kinase in normal and cancer cells." Biol Cell(2008) PMID:18851712	No. 10-1
■ 12	M Sattler et al. "Mechanisms of transformation by the BCR/ABL oncogene." Int J Hematol(2001) PMID:11345193	No. 10-1
■ 13	Mark A Dickson et al. "Phase II trial of the CDK4 inhibitor PD0332991 in patients with advanced CDK4-amplified well-differentiated or dedifferentiated liposarcoma." J Clin Oncol(2013) PMID:23569312	No. 11-1
■ 14	Mark A Dickson et al. "Progression-Free Survival Among Patients With Well-Differentiated or Dedifferentiated Liposarcoma Treated With CDK4 Inhibitor Palbociclib: A Phase 2 Clinical Trial." JAMA Oncol(2016) PMID:27124835	No. 11-1
■ 15	S A Datar et al. "The Drosophila cyclin D-Cdk4 complex promotes cellular growth." EMBO J(2000) PMID:10970848	No. 11-2
■ 16	W Ruprecht Wiedemeyer et al. "Pattern of retinoblastoma pathway inactivation dictates response to CDK4/6 inhibition in GBM." Proc Natl Acad Sci U S A(2010) PMID:20534551	No. 11-2
■ 17	Y Xiong et al. "Subunit rearrangement of the cyclin-dependent kinases is associated with cellular transformation." Genes Dev(1993) PMID:8101826	No. 11-2
■ 18	Alfons Meindl et al. "Germline mutations in breast and ovarian cancer pedigrees establish RAD51C as a human cancer susceptibility gene." Nat Genet(2010) PMID:20400964	No. 12-3
■ 19	Fiona Vaz et al. "Mutation of the RAD51C gene in a Fanconi anemia-like disorder." Nat Genet(2010) PMID:20400963	No. 12-3
■ 20	Liisa M Pelttari et al. "RAD51C is a susceptibility gene for ovarian cancer." Hum Mol Genet(2011) PMID:21616938	No. 12-3
■ 21	Trial:NCT03093116	No. 7-4 , 8-4
■ 22	Target:ABL1	No. 4-2 , 4-3 , 9-2 , 9-3 , 10-3
■ 23	Target:BCR::ABL1	No. 10-2
■ 24	Target:BCR	No. 10-4
■ 25	Target:CDK4	No. 11-3 , 11-4

6 使用ソフトウェアバージョン

C-CAT CKDB	6.2.1
refGene	20191020
ensGene	v32(20191028)
1000 Genomes	Phase_3(20170504)
ExAC	r0.3
ToMMo	8.3kjpj-20200831
がん種マスタ	2023_07_25
C-CAT登録症例のデータの集計日	2023年8月6日

7 エビデンスレベル定義

【治療効果に関するエビデンスレベル分類】

基準	分類
当該がん種、国内承認薬がある/FDA承認薬がある/ガイドライン記載されている。	A
当該がん種、統計的信憑性の高い臨床試験・メタ解析と専門家間のコンセンサスがある。	B
他がん種、国内またはFDA承認薬がある/他がん種、統計的信憑性の高い臨床試験・メタ解析と専門家間のコンセンサスがある/がん種に関わらず、規模の小さい臨床試験で有用性が示されている。	C
がん種に関わらず、症例報告で有用性が示されている。	D
前臨床試験 (in vitroやin vivo) で有用性が報告されている。	E
がん化に関与することが知られている。	F
薬剤耐性への関与に関して、臨床試験で統計学的検定により確度高く耐性バリエーションであると判明している。	R1
薬剤耐性への関与に関して、耐性二次変異などとして報告があり細胞実験や構造解析などで検証されている。	R2
薬剤耐性への関与に関して、前臨床試験で耐性バリエーションと評価されている。	R3

R1, R2, R3は国内/FDAの承認薬についての耐性エビデンスです。他がん種におけるエビデンスの場合はアスタリスク (*) が表示されます。

【薬剤への到達性の指標】

国内承認薬	: 当該がん種、国内承認薬がある。
国内適応外薬	: 他がん種、国内承認薬がある(適応外)。
FDA承認薬	: 当該がん種、FDA承認薬がある。
FDA適応外薬	: 他がん種、FDA承認薬がある(適応外)。
国内臨床試験中	: 当該がん種、国内臨床試験がある。
空白	: 上記以外。

8 注意事項・免責事項

- C-CAT調査結果 (以下「本調査結果」という。) は、エキスパートパネルにおいて臨床情報等と併せて衛生検査所等が発行する遺伝子パネル検査結果報告書の解釈と活用を検討するための参考資料として提供されるものです。本目的以外にC-CAT調査結果の内容を利用することをお控えください。
- 本調査結果は、エキスパートパネルにおける検討に資するよう、がんゲノム情報管理センターが公共のデータベースや商用データベース(JAX-CKBTM*1)等を用いて構築した知識データベースを基に患者毎にゲノム解析結果に対して解釈・臨床的意義づけを行ったものですが、その活用には、次の点に十分に注意をお願いします。
*1 Somatic gene variant annotations and related content have been powered by The Jackson Laboratory[®] Clinical Knowledgebase (JAX-CKBTM)
- ①本調査結果については、本国内において臨床検査として承認されたものではなく、現時点では臨床検査としての正確性が保証されたものではありません。その内容については、エキスパートパネルにおいて、適応性、妥当性、適時性などを判断の上で、活用する必要があります。
- ②本調査結果は、特定の薬剤の効能効果を保証し、適応を示すものではなく、また、特定の薬剤の効能効果がないことや、適応や副作用がないことを示すものでもありません。個々の薬剤の使用に際しては、添付文書等に基づいて個々の治療を担当する医師が十分に検討を行ってください。
- ③臨床試験に関して公開されている情報はゲノム医療を前提として記述されていないため、必ずしも遺伝子に紐付けされず、本調査結果において患者さんが参加可能な臨床試験を網羅的に掲載できていない可能性があります。また、掲載されている臨床試験が各患者さんに適応しているとは限りません。
- ④臨床試験については、本調査結果に記載されていない適格条件や患者登録状況の変化等により患者さんが参加できないケースも考えられます。登録の可否については臨床試験の実施機関にお問合わせください。
- ⑤本調査結果に掲載されている薬剤の一部は、国内又は海外で治験や臨床試験中の医薬品であり、未だ有効性・安全性が確立しているものではありませんので、個々の患者さんへの薬剤の使用や臨床試験への登録の是非については、エキスパートパネルや主治医の医学的判断のもとに検討してください。
- ⑥医薬品の承認状況や科学的知見等は日々更新されています。これら国内外の情報のアップデートのタイミングの違いに伴い、本調査結果で収集されている情報が最新ではない可能性もあります。国内外の行政機関の判断内容と本調査結果の記載に相違がある場合には、前者の内容を優先してください。

SAMPLE F1CDx

- ⑦本調査結果の品質については、細心の注意を払っていますが、人為的、システマ的なエラーが生じ得る可能性も否定できませんので、エキスパートパネルにおいては、遺伝子パネル検査結果報告書との整合性を確認すると共に、整合性等に関して疑問がある場合にはC-CATに照会いただきますようお願いいたします。
- ⑧本調査結果は保険適用された遺伝子パネル検査結果報告書に記載されているバリエーションのみを検索対象としています。
- ⑨本調査結果は、衛生検査所等が発行する遺伝子パネル検査結果報告書と異なるアルゴリズム(用いる代表転写産物の違い等)で調査報告する場合があるため、マーカー情報が異なって記述されることがあります。
- ⑩本調査結果の塩基置換、挿入、欠失 (DNA)、生殖細胞系列変異 (T/N実施検査のみ)のマーカー欄には、ToMMo、Exome Aggregation Consortium(ExAC)、1000人ゲノムプロジェクトのアレル頻度情報をToMMo、ExAC、1000Gとして表示しております。Exome Aggregation Consortium、1000人ゲノムプロジェクトのアレル頻度情報は東アジア人種におけるアレル頻度情報を表示しています。
- ⑪本調査結果のマーカー欄*1には、以下の定義でC-CATに登録された症例における頻度情報を表示しています。集計対象となるC-CATに登録された症例は6使用ソフトウェアバージョンのC-CAT登録データを参照ください。
- ・全がん種バリエーション頻度：同一遺伝子変異を持つ症例数 / C-CATに登録された全症例数 (全がん種)*2
 - ・がん種別バリエーション頻度：当該がん種で同一遺伝子変異を持つ症例数 / C-CATに登録された当該がん種の症例数*2
 - ・がん種別遺伝子変異頻度*3：当該がん種で同一遺伝子においてエビデンスレベルFが付与される変異を持つ症例数 / C-CATに登録された当該がん種の症例数*2
- *1 頻度情報を表示するバリエーションは本調査結果の塩基置換、挿入、欠失(DNA)と遺伝子再構成(DNA)、構造異型(DNA)とコピー数変化、および生殖細胞系列変異 (T/N実施検査のみ)に掲載するバリエーションを対象としています。
- *2 C-CATに登録された全症例数、C-CATに登録された当該がん種の症例数はパネルによって検出対象とする遺伝子の差異を考慮せず、すべての対象症例数を集計しています。
- *3 マーカーが融合遺伝子の場合、融合遺伝子の上流と下流の遺伝子について、それぞれがん種別遺伝子1変異頻度、がん種別遺伝子2変異頻度を記載します。
- ⑫本調査結果では、以下の項目について衛生検査所等が発行する各遺伝子パネル検査結果報告書内容に基づき調査対象を決定しております。
- ・ Tumor Mutational Burden / Blood Tumor Mutational Burden : TMB
 - ・ Microsatellite Status : MSI
 - ・ Loss of Heterozygosity score : LOH
- ※ただし、FoundationOne CDxの場合、検査会社発行の遺伝子パネル検査結果報告書にLOHが報告されることがありますが本調査結果では調査対象外としております。
- ⑬本調査結果と検査会社発行の検査報告書では遺伝子変異等の表記に差異が存在することがあります。その場合には検査会社発行の検査報告書の記載を優先して活用ください。
- ⑭遺伝子パネル検査のパネル種別がFoundationOne Liquid CDxの場合、検査会社発行の遺伝子パネル検査結果報告書のBiomarker FindingsにはTumor Fractionの値が記載されますが、本情報はC-CATにシステムで処理可能な形式として提供されないため、本調査結果では調査対象外としております。
- ⑮遺伝子パネル検査のパネル種別がFoundationOne Liquid CDxの場合、検査会社発行の遺伝子パネル検査結果報告書のOTHER ALTERATIONS & BIOMARKERS IDENTIFIEDに「# Variants in this gene may be derived from a nontumor source such as clonal hematopoiesis (CH).」と記載されている変異情報は、本調査結果で腫瘍由来の体細胞変異とみなして調査し、調査結果作成しております。
- ⑯本調査結果は、遺伝子パネル検査が生殖細胞系列変異と体細胞変異を区別しない場合は、変異情報を体細胞変異とみなして調査し、調査結果作成しております。
- ⑰本調査結果は、エキスパートパネルの参考資料として作成されたものであり、患者さんが原本又は複写物を受け取ることを想定して作成されたものではありません。
- ⑱個々の治療は、患者に対する十分な説明を行った上で、個々の治療を直接担当する医師の責任及び判断に基づいて行うものであり、C-CATが治療に関する判断と結果、患者への説明について責任を負うものではありません。

以上